

母村・旧高鷲村(現・郡上市)との 今後の交流をどう進めていくのか



(動画時間)
28分



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

**町長：連携協定の締結は双方の機運が
高まったときにと考えている**

質問 母村・旧高鷲村(現・郡上市)

との交流に関する一般質問については、過去に二度ほど行っており、町長からは、行政間や文化・教育分野などでの交流について、前向きな答弁があったと記憶しています。そこで、これまでどのような想いをもって進めてきたのか。今後、どのように進めていこうと考えているのか、町長の見解を求めます。

町長 母村・旧高鷲村のある郡上市とは、歴史的・精神的に大きなつながりがあり、様々な分野で関係を深めてきました。特に子供たちが互いの文化や歴史を学び、オンラインなどで交流してきましたが、今年度は中学生同士の交流を具体的に予定しています。文化交流では、上名寄郷土芸能保存会が中心となり、郡上踊りなどで交流を深めていくとともに、経済交流では、互いの特産品のPRや観光交流など、双方の地域資源を活かした連携を進めていきます。

また、連携協定の時期については、郡上市の意向もあることから、明言はできませんが、双方の機運が高まったときに締結できればと考えています。

AIを使いこなせる人材を 育てるには



(動画時間)
19分



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

**教育長：幼児期から小学校低学年の連携を
強め、非認知能力を育んでいく**

質問 昨年、読解力向上のため、リーディングスキルテストの導入を提案しましたが、その後の検討結果を伺います。

教育長 義務教育学校経営研究会において、小・中学校長に意見等を伺った結果、総合学習や小学校では、国語専科教員による学習などを通じて、一定程度の読解力は定着しているものと考えています。このため、リーディングスキルテストを実施する予定はありません。

再質問 AIの普及により、見た目は整っていても内容の浅いレポートが増えると言われています。AIをうのみにせず、自分で考え判断する力が重要です。こうした時代を踏まえ、小中高を通じて下川町の教育をどのような方針で進めますか。

教育長 幼児期から小学校低学年との連携を強め、非認知能力を育みます。小中9年間では、自ら考え進路を判断できる力と学力を育成します。高校では地域と連携し、例えばAI等を活用する力も学べる教育を充実させ、商業高校の魅力向上にも取り組んでいきたいと考えています。